専門研修プログラム名	精神科専門医研修プログラム　ゆい	専門研修プログラム
基幹施設名	平安病院	
プログラム統括責任者	大田　裕一	

専門研修プログラムの概要	基幹病院の「心を病める人にへいあんを」の基本理念のもと、長年地域の精神医療に貢献してきた実績を踏まえ、臨床実践的な研修プログラムを目指している。現在、当基幹病院では精神科救急病棟（スーパー救急）、精神科治療病棟（亜急性期、重症慢性）、認知症治療病棟、精神科療養病棟、医療療養病棟などすべての精神疾患に対応可能な病棟を有し、統合失調症、高次脳機能障害、気分障害、認知症、発達障害など、広範囲な精神障害の症例について研修することが可能である。更に専門性を高めるために３年間のプログラムの中で関連各施設をローテートすることによって多彩な症例を経験することができる。	
専門研修はどのようにおこなわれるのか	まずは基幹施設である平安病院で精神科救急医療を中心に精神科一般について研修する。急性期から慢性期、認知症、高次脳機能障害、発達障害など多くの症例を経験することができる。また災害精神医学についても学ぶことができる。続く各関連病院医療機関においてリエゾン精神医学、依存症治療、児童精神医学、精神保健福祉、社会精神医学を学んでいく。研修及び指導の内容については定期的に関連施設間の指導医の会議を開いて情報共有と問題点の改善を行う。	
専攻医の到達目標	修得すべき知識・技能・態度など	学会や各種研修会等に参加して医療安全、感染管理、医療倫理、医師として身につけるべき態度などについて履修し、医師としての基本的診療能力を高める。
	各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得	月曜日～金曜日まで毎日のカンファレンスを通し指導医及び研修センター長の指導の下、自らも積極的に新しい知識を得てさらに臨床応用できるよう研鑽を積む。
	学問的姿勢	解決できない問題についても、積極的に臨床研究や基礎研究に参加することで、解決の糸口を見つけようとする姿勢を作り上げる。リサーチマインドの涵養が大切である。
	医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性	研修施設群での多くの臨床医との出会いや交流、多彩な臨床経験および社会体験を通して社会性を養う。行動制限場面や特殊治療場面はもちろんのこと、研究事例においても倫理的に正しい方向に向かうべく思慮し行動決定できるような良き「精神科医」を目指す。
施設群による研修プログラムと地域医療についての考え方	年次毎の研修計画	各関連施設をローテーションし、年次ごとの目標に従った研修を行う。（詳細は下記URL研修概要参照）
	研修施設群と研修プログラム	初年度:平安病院、２年度:平安病院および那覇市立病院、３年度:平安病院および那覇市立病院、糸満晴明病院、嬉野が丘サマリヤ人病院、宮里病院、田崎病院、沖縄県立総合精神保健福祉センター、新垣病院
	地域医療について	地域連携、地域包括ケアの実際を主治医として体験することによって、地域医療の実際を学習する。地域社会に展開する多職種との連携をおこなうことにより、地域で生活する患者にたいする精神医療の役割について学習する。

専門研修の評価	専攻医に対する指導内容は、統一された専門研修記録簿に時系列で記載して、専攻医と情報を共有するとともに、プログラム統括責任者およびプログラム管理委員会で定期的に評価し、フィードバックと改善を行う。	
修了判定	3年の研修期間終了時に、研修プログラム委員会にてこれまでの研修内容をすべて評価し、機構の基準に従い判定を行う。	
専門研修管理委員会	専門研修プログラム管理委員会の業務	連携施設担当者と専門研修指導医で委員会を組織し、個々の専攻医の研修状況について情報共有し、管理および問題点の改善を行う。メンバーは人事の異動などに伴い変更する場合がある。
	専攻医の就業環境	それぞれの連携施設においては各施設が独自に定めた就業規定に則って勤務する。ただし自己学習日についてはいずれの施設においても出勤扱いとする。
	専門研修プログラムの改善	研修施設群内における連携会議を定期的に開催し、問題点の抽出と改善を行う。専攻医からの意見や評価を専門医研修プログラム管理委員会の研修委員会で検討し、次年度のプログラムへの反映を行う。
	専攻医の採用と修了	下記URL参照。応募受付後一次選考は書類選考、二次選考は小論文および面接を行い、採用を決定する。3年のプログラム終了後研修プログラム管理委員会にて評価し修了を認定する。
	研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件	専攻医本人の申し出により、専門研修プログラム委員会において協議し休止、中断、移動その他の変更を行う。研修中に問題が生じた場合も同様に行う。
	研修に対するサイトビジット（訪問調査）	研修センター長による、各関連施設での教育回診等を行い研修内容の問題点がないか確認する
専門研修指導医 最大で10名までにしてください。主な情報として医師名、所属、役職を記述してください。	大田裕一（専門医、平安病院病院長、統括責任者） 平安良雄（専門医、平安病院研修センター長）：平安明（専門医、平安病院理事長） 宮平良尚（専門医、平安病院リハビリ科長） 渡嘉敷いづみ（専門医、平安病院副研修センター長） 堀美帆（専門医、平安病院産業医） 吉川仁（専門医、平安病院医局長）平田雄三（専門医、糸満晴明病院） 川崎俊彦（専門医、 宮里病院院長） 宮里洋（専門医、嬉野が丘サマリヤ人病院） 他8名	
Subspecialty領域との連続性	児童精神科治療関連施設が法人内にあり、連続的に研修できるよう連携を検討している。	